

上越市だより

# 直江津港沖に「燃える氷」の塊 メタンハイドレート発見

直江津港沖三十キロメートルの海底深部に、高密度のメタンガスが氷状に閉じこめられ「燃える氷」と呼ばれる「メタンハイドレート」が、海洋調査船「かいよう」等の調査で存在していることが分かった。一部は海底に幅一〇〇〜二〇〇メートルにわたり露出点存在していることが確認され、海底面から地下数キロにわたって、巨大な天然ガス田があると期待されている。

「メタンハイドレート」は高密度のメタンガスが閉じこめられた氷状のもので、将来石油に変わって利用可能と考えられています。ひよつとすると上越市は大工業地帯に変身するのも夢では無いかも知れません。

